

魅力あふれる職場環境の実現に向けた取組

社会経済情勢が大きく変化する中、北海道を更に前に進めていくためには、道政を支える職員の力がますます重要です。職員一人ひとりが生き生きと働き、働いてみたいと思われる道庁となるよう、魅力ある職場環境を作っていくことが重要です。

こうした道庁づくりに向けて、新たな人材育成基本方針に基づく取組を推進するほか、職員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる環境づくりや、若手職員等の業務をサポートする体制づくり、活発なコミュニケーション等を生み出す職場づくりを進めていきます。

一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境づくり

(単位：千円)

○BPRやBPO等による業務効率化の推進

業務の流れを外部の視点で分析し、デジタル技術の導入や重複作業の簡略化等により最適化することで、道業務の効率化を進めます。

○時間や空間に制約されない働き方の加速

職員のライフステージの変化に応じた多様な柔軟な働き方の実現に向け、モバイルワークや在宅勤務等を推進します。

○チャレンジを後押しする環境づくり

自らの能力やスキル、経験を挑戦してみたい行政分野に売り込む庁内FA制度の導入や庁内副業制度の試行など若手職員等のチャレンジを積極的に後押しします。

主な施策	R 7 予算額
【BPR推進事業費】 デジタル技術を活用した業務プロセスの最適化など、定型業務を見直すことで道業務の効率化を図ります。	11,243
【テレワーク環境更新費】 モバイルワークや在宅勤務など時間や空間に制約されない働き方を推進するための環境構築に向けた検討を進めます。	40,800

職員の業務をサポートする体制づくり

(単位：千円)

○契約事務の集約化の加速

契約事務の一斉点検を踏まえ、より適正かつ効率的で、競争性が高い契約となるよう、入札や契約締結の集約化、物品コンビニの拡充など事務の集中化を図るとともに、電子化やマニュアルの拡充、相談体制の構築などを進めます。

○若手職員をサポートする仕組みの充実

定型業務のマニュアル化や庁内SNSを活用した相談体制の構築など職員の業務執行をサポートする仕組みを充実するとともに、代表アドレスの活用や業務進捗状況の共有など組織として業務を進める体制を整備します。

○生成AIなどデジタル技術の徹底活用

生成AIをはじめとするデジタル技術の活用や道職員のデジタルスキルの向上を図ること等により業務の省力化を図ります。

主な施策	R 7 予算額
【生成AI活用推進事業費】 全職員を対象とした生成AIの実証実験や伴走支援等により、生成AIの利活用に関する習熟度を高め、業務の省力化を図ります。	25,200

活発なコミュニケーション等を生み出す職場づくり

(単位：千円)

○快適に安心して働くことができる環境を整備

機能的で働きやすく、職員間のコミュニケーションの活性化が図られる執務環境や、安心して働くことができる環境づくりに取り組みます。

○管理職員のマネジメント能力の向上

いわゆる360度評価や研修等を実施し管理職のマネジメント能力を強化します。

○職員の声を反映した組織風土改革の実施

職員から業務のイノベーションにつながる提案を募集し優れた提案を表彰するなど、組織風土改革に職員の声を積極的に反映します。

主な施策	R 7 予算額
【執務環境改善事業費】 各庁舎の状況に応じて、会議室の確保・共有化や執務スペースと来庁者対応スペースの分離など働きやすいレイアウトへの見直し、適切な室温管理や庁舎内のセキュリティー確保などに計画的に取り組めます。	207,696